令和7年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業事例

事業実施主体：長野県
品目　　：市田柿、ぶどう

	令和6年度	令和7年度	前年比
輸出額	約2.3億円	約2.7億円	**117%**
輸出量	約90トン	約103トン	**114%**





（左）再生した耕作放棄地　（右）最適な梱包の模索

課題	取組	成果
【市田柿】輸出拡大を見据えた生産量の確保 ✓ 既存の輸出先国（台湾）に加えて新市場へのアプローチするための生産量の拡大が必要	**耕作放棄地の活用による生産基盤整備** ✓ タイ向け輸出を見据えた産規模の拡大のため耕作放棄地の整備の実施	**将来的な栽培面積拡大の基盤確保** ✓ 40aの耕作放棄地を再生し将来的な生産量増加に向けた園地確保
【ぶどう】検疫・残留農薬基準への対応 ✓ 新規市場への輸出に係る検疫や残留農薬への対応が不十分	**輸出先国に対応した防除暦の見直し** ✓ インドネシア向け輸出防除暦の見直し ✓ 残留農薬分析検査の実施	**インドネシア向け輸出が可能に** ✓ 現行の防除体系の輸出適合性を確認
輸送コスト削減と鮮度保持 ✓ 費用対効果の高い輸送方法の確立が必要 ✓ 新市場向け物流体制の構築が構築が必要	**輸送試験による物流検証** ✓ 産地で輸出専用荷造りし大ロット輸送試験 ✓ 市場調査により品質ロス等を検証	**効率的な物流体制の構築** ✓ 台湾向けリードタイムを2日間短縮 ✓ インドネシア向け輸送ルートを構築 ✓ 鮮度保持資材や緩衝材の組合せを確認 ✓ 最適な輸送手段に関するデータを収集